



概要

釧路市は、釧路駅を起点に路線バスが各方面へ運行しているが、商業施設や医療機関の郊外移転、中心市街地の空洞化に伴って、マイカーの優位性が高まるとともに、運行効率の低下により路線バスの採算が悪化している。このため、公共交通の効率性・利便性の向上を目指し、バス路線の再編や郊外部におけるデマンドバス・乗合タクシーの導入等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(釧路駅など9駅)、釧網本線(東釧路駅)
- ・くしろバス(株)(市内線、白糠・厚岸方面郊外線)
- ・阿寒バス(株)(市内線、阿寒・羅臼方面郊外線)
- ・都市間バス(5社共同運行による札幌、北見、根室線)運行
- ・釧路空港

地域公共交通の課題

- ・商業施設・医療機関の郊外移転への対応
- ・路線バスの運行の効率化
- ・マイカーの優位性が高いことによる公共交通離れ

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・路線バスの効率的な運行の検討
- ・郊外部に適した公共交通サービスの検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編・効率化の検討
- ・郊外におけるデマンドバス・乗合タクシー等導入の検討
- ・水陸両用車の導入検討



釧路市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

検討会3回開催

左記開催状況は H21.1.30現在

現況交通実態調査

・各種統計調査等により、交通概況、中心市街地の衰退、公共交通維持にかかる市の補助金抛出状況調査を実施。(H20.10~12月)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・市街地での適切なバス運行形態のあり方を検討するため、駅~総合病院を通過するバス5路線76便の利用者実態調査及び小中高生に対するバス通学実態ヒアリング調査を実施。(H20.10~11月)

路線バスの効率的な運行の検討

・上記調査等を基に、調査実施区間における効率的なバス運行の検討を現在も継続して実施。(H20.11月~H21.3月予定)

郊外部に適した公共交通サービスの検討

・路線バスによる対応が困難となる地域に適した乗合タクシー等の導入検討のため、市内阿寒町布伏内地区をモデルに関係者へのインタビュー調査を実施。(H20.11~12月)

その他の調査等

既存資料による将来人口・公共交通利用者調査及び市の各種計画で目指す将来像において、公共交通に求められる内容の検討。

予定している連携計画の内容

幹線路線化設定に伴うダイヤ再編検討事業(実施主体:くしろバス(株)、実施時期:H21~)

・駅~市立病院間の重複区間の幹線化と以外の区間の支線化をモデルケースとし、再編・効率化をシミュレーションし事業化を検討。

乗合タクシーを活用した実証運行事業(実施主体:釧路市・公共交通事業者、実施時期:H21~)

・布伏内~阿寒本町間をモデルとした乗合タクシーの実証運行を実施し、各種検証を加え、事業化及び他地区への応用を検討。

観光客等新規公共交通利用者の開拓に向けた課題検討(実施主体:釧路市、実施時期:H21~)

・観光客等の公共交通利用の可能性を検討のうえ、水陸両用車やDMVなど導入及び活用の課題を検討。

自己評価のポイント

既存調査結果の活用、アンケート調査、ヒアリング調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において検討会も開催しながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。